商品番号 NO.2078

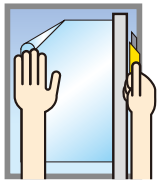
取付簡単

取付方法

1 貼り付け面をキレイにします。

2 フィルムを貼り付け面に貼ります。

3 フィルムが出る場合カッターで切ります。



詳しい貼り方は、ウラ面（内側）をご覧下さい。

名　称	ガラス飛散防止フィルム
材　質	ポリエステルフィルム
付　属	ヘラ：合成ゴム

N-2078

4 909314 110879

日本製

株式会社 ノムラテック
〒544-0012 大阪市生野区巽西4丁目4番26号
TEL.(06)6756-7301 FAX.(06)6756-7311
URL http://www.nomuratec.co.jp

地震によるガラスの飛散は非常に危険です！フィルムを貼り危険を防止しましょう。

地震

貼って安心

危なし！

貼らないと危険

貼るだけでガラス飛散防止！

透明 ガラス飛散防止フィルム

ゴムのヘラ付

透明ガラス専用

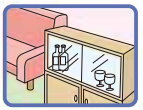
46×185cm　無色透明 1枚入

EMERGENCY SUPPLIES.

使用場所

食器棚に！

室内ドアのガラス面に！



サイドボードに！

※熱線反射ガラス、熱線吸収ガラス、線入りガラス、二重ガラス、有機ガラス、など特殊なガラスは割れる恐れがあるため使用しないでください。
※凸凹のある模様ガラスやスリガラスなどには貼り付けられません。

用意するもの

セロハンテープ
保護フィルムをはがす時に使用。

霧吹き
水溶液の吹きつけに使用。

中性洗剤（台所用洗剤）
水と混ぜて水溶液を作ります。

ペーパータオル
付属のヘラに巻いて仕上げに使用。

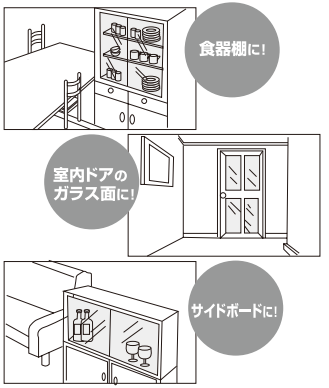
透明ガラス専用　ガラス飛散防止フィルム

きれいに貼るために下記項目を必ず、良く読んでください。

特　長

■ガラスが割れた際に破片が飛び散るのを防ぎ、危険防止に役立ちます。
■フィルムが透明なので視界を妨げません。

用　途



●用意するもの●
●霧吹き　●定規　●カッターナイフ　●台所用（中性）洗剤
●古紙等（水ダレによる床面保護のため）
●セロテープ（保護フィルムをはがす時に使用）

フィルムを貼ります。

●家具からガラスを外して下さい。
※ガラスが外せない家具につきましては、ガラスのサイズに合わせてフィルムをカットしていただき貼り付けます。
※フィルムは、基本的には、外側のガラス面に貼り付けますが、家具によって内側にしか貼れない場合は、内側にお貼り下さい。

1.水溶液をつくります。

家庭用霧吹きに水を入れ、台所用（中性）洗剤を1～2滴おとし、よく混ぜます。
※ガラス清掃・貼りつけ時に使用します。（水道水200ccに対して）
※洗剤を入れすぎない様、気を付けて下さい。

2.ガラス面を清掃します。

注）床がぬれないよう古紙等を敷いてください。

貼りつけるガラスに水溶液をたれる位たっぷりと吹きつける。

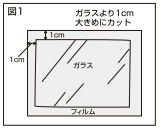
付属のヘラを用いて、油、ホコリ・異物等を石けん水と共にしごき、取り除きます。
※空気が入る原因になりますので、十分に清掃してください。
※布などで拭くと繊維が抜けて付着しやすいため、必ず付属のヘラをお使いください。

3.フィルムをカットします。

巻いているフィルムを広げて下さい。

●保護シートをはがさずに、本体フィルムをガラス面よりタテ・ヨコ1cm位大きめにカットします。（図1）

図1



注：家具よりガラスが外せない場合は、ガラス面の寸法を測って頂き、サイズに合わせてフィルムをカットして御使用下さい。

図2

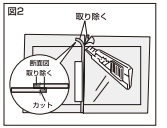
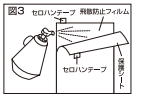


図2 つなぎ合わせて貼る場合は2cm程重ねて貼り、重なった中央に定規をあてカッターで重ね切りし、余分なフィルムを取り除き、つき合わせてください。

4.保護シートをはがし、水溶液を吹き付けます。

●フィルムの裏表両面にセロハンテープを互いにくっつかないように貼り合わせ、そのままセロハンテープを外側に向かって引っ張って頂きますと飛散防止フィルムと保護シートが分かれやすくなります。粘着面のある方が、飛散防止フィルムになります。（図3）

図3



5.ガラス面へ貼りつけます。

●フィルム粘着面をガラスに貼りつけます。

図4

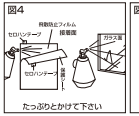


図5

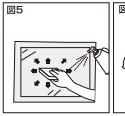
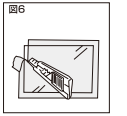


図6



ますガラス面とフィルムの粘着面にたっぷりと水溶液を吹き付けてからガラス面に貼り付けます。（図4）その後フィルムの表面がキズつきにくくするためにフィルムの上から水溶液をかけ、フィルムとガラスの間の水分・空気を付属のヘラで放射状にしごき出します。（図5）

貼りつけたフィルムのはみ出した部分をガラス枠より2cm位内側でカッター等で切り取ってください。（ガラスを傷つけないようご注意ください。）（図6）

6.仕上げます。

●もう一度フィルムの上から水溶液をかけた後（滑りやすくし、キズをつきにくくするため）空気を付属のヘラで放射線状にしごきだします。
貼りあわせ後、徐々に水分が蒸発し、しっかり貼りつきます。（目安として約1日）
どうしても空気がぬけない場合は、針で空気穴を刺してください。

ご注意

●熱線反射ガラス、熱線吸収ガラス、線入りガラス、二重ガラス、有機ガラスなど特殊なガラスは割れる恐れがあるため使用しないでください。
●粘着面に手を触れたり、貼り直しをすると、粘着力が弱くなります。
●凹凸のある模様ガラスやスリガラスなどには貼りつけられません。
●フィルムが完全に乾燥するまでは十分なガラス飛散防止効果は、得られません。
●乾燥するまではズレ・シワになりやすいため、表面を拭いたり、こすったりしないでください。
●表面にくもり・ぬめりが残る場合がありますが、よく乾燥したのちに拭き取ればきれいになります。
●室温10℃以上の時に作業してください。
●肌に貼るなど、用途以外での使用はしないでください。
●残ったフィルムは、幼児の手が届かず、直射日光が当たらない冷暗所に保管してください。
●正しく貼られないと十分な効果は得られません。
●本製品は災害事故等を防止するものではありません。
万一発生した災害、事故などによる損害については責任を負いかねますので、ご了承下さい。